



全国

第3号

母親クラブだより



- 新規母親クラブ紹介
- 活動報告
- 伝承遊び
- 行政だより
- 関係団体の紹介
- 海外研修報告
- 事務局だより

発行
全国母親クラブ連絡協議会〒140-0002 東京都渋谷区渋谷2-15-1 東邦生命ビル八階
(財)東邦生命社会福祉事業団内
TEL. 03-3797-8183~4 FAX.03-3797-8122

**全母協」を代表し
重田会長「観桜会」に招待**

桜とこころ

会長 重田強子

桜前線が東北にかかる頃の四月十八日、内閣主催による「桜を見る会」が新宿御苑で開催され、参加の機会をいただいた。

同苑にはソメイヨシノも沢山植えられており、若葉の緑が八重桜に溶け合い、色彩のコントラストは見事であった。

入苑してしばらくその美しさに感動の沈黙があった。白、淡いピンク、少し色の濃いもの、ほんのりグリーンがかった「うこん桜」らしきものなど、その数は図り知れない。

そして、全ての樹木の手入れが行き届き、相当年数を経たものも、その活きは劣えていない。一輪の美しさも良いが、織り重なつて咲いた花は例えようのない莊厳さをもつている。樹と管理する人の心がひとつになつていることを表わしていると思う。

招待された人は、政界財界、芸術文化、スポーツとあらゆる分野で活躍されている方々で、平素培われた貴品と人としてのモラルやマナーがとても感じよく、ここにも人が創られていく日々の環境が如何に大切であるかをみたような気がした。



厳しい世論や諸行事の中、終始笑顔を絶やす手を振られ応えていらっしゃる姿に頭が下がった。

この会のひとコマひとコマが、「生きる、育てる、育つ」につながり、そこには必ず心が伴つていてることを痛感した。

ご推薦に当られた関係者に深く感謝申し上げ、これから全国母親クラブの運営に活かしていきたいと思う。

**新会員
「秋田児童健全育成
地域組織連絡協議会」紹介**

「あきた子育てネットワーク」の構築を目指して

事務局 山王丸 愛子（児童福祉課）



雪国秋田も、例年より一足早く桜が咲始め、種々の花たちがそこここで春のにぎわいを感じさせてくれる季節となりました。さて、本県では、県組織の結成を目指し、昭和八年度から各方面との調整を進めてまいりましたが、去る三月二六日、待ちに待つ了秋田県児童健全育成地域組織連絡協議会を発足させることができました。

出来上がった県組織は、三十市長村百十クラブ、会員総員数九千七百二十七名の大所帯で活動者の半数近くが男性という、ちよつと毛色の変わった組織になりました。

このたび、全母協各位の絶大なご協力により、県組織を結成することができましたが、これを契機として、クラブ相互の連携を図りながら、地域に根ざした質の高い育成活動を進めてまいりたいと念願しております。今後ともご支援くださるようお願いします。

散索するうちに、村岡官房長官とお話し中にも子育てや地域活動を重ねて考えてみるとこれから課題が多くあると思った。

散索するうちに、村岡官房長官とお話しできる刻がもてた。ひと言母親クラブの名前もPRすることができ、「四十万人の会員の声です。健全育成、頑張ります。」と付け加えた。

一時間余り経つて橋本総理大臣が入苑され、参加者の間をぬつて敬意を表された。

「エツ、どうして?」と思われる方も多いと思いますので、本県の児童健全育成活動へのこれまでの取組みを簡単に御紹介します。



全国母親クラブ

活動報告

北海道・東北
関東ブロック

児童福祉の向上に
寄与する活動

母親クラブやき会

私たち、「母親クラブやき会」は、日立市立すえひる児童館を拠点として、隣接のすえひる老人の家の交流、地域との交流と多彩に活動しています。

児童館では、月一回の定例会は私たちの学習の時間でパネルシアターの練習や救命講習、革工芸やお料理講習など、もりだくさんです。その他、児童館行事への協力や日立市の健康課で行っている、遊びを通して母と子のかかわり方を考えいく「のびっこクラブ」のお手伝いをしています。

児童館と老人の家と市民の会の合同で行われる、春のすえひる三世代レクリエーション大会には、けんちんうどんを作り毎年おいしいと好評です。秋は三世代文化祭でお年寄りが行う芸能発表の司会進行や、定期会で作つた手芸品を展示したり、パネルシアターを上演して参加しています。

地域交流として、自主活動をしている育児サークルに依頼され、パネルシアターの上演をしています。徐々にけんちんうどんを作りました。

アターと手作りのプレゼントを持つて訪問しています。その他、特別養護老人ホーム

「萬春園」で月一回おむつたたみもしています。

会員は、三十歳代から五十歳代まで幅が広いので、子育ての相談や生活の知恵などコミュニケーションをはかり、いたわり励まし合いながら仲良く活動しています。そして、これからも魅力ある「けやき会」である様に努力して行きたいと思います。



中部・近畿
ブロック

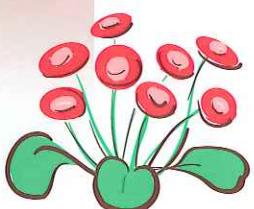
静岡市

上足洗母親クラブ

世代間交流事業の大切さはいうまでもないが、日常生活の中、自然体で交流できるようになるまで、続けていくことがとても大切なことだと思います。静岡市上足洗母親クラブは、夏の子ども広場、連合町内会運動会、町内もつつき大会、ジュニアリーダー研修会等、年中行事として定着している。防災訓練も毎年行っていますが、去る

三月二十一日には母親クラブ結成予定団体と合同で、三世代が一緒になり、おとなたちは阪神大震災を体験した二人の方の体験談と話し合いを、こどもたちはアニメのビデオで大震災を学習しました。

それから非常食の「ハイゼックス」（洗米一合をハイゼックスというビニール袋に入れ指定のところまで水を入れ空気を抜いて密閉し、鍋にたっぷりの湯を沸かし、そ



の中で三十分湯炊きをするとご飯が出来上がります。）で御飯を炊いてカレーをかけ、みんな考えや知恵など交換し合えますし、世代の違う方達のもののとらえ方や受け入れ方などのやりとりが学べ、分かり合えて大変良かったと思いました。また、被災地のまだ仮設住宅に住んでいらっしゃる方々への募金活動を同時にを行い寄付をしました。被災地のみなさんとのつながりも、続けていくことの大切さも学びました。

今回は母親クラブ結成予定の若いお母さんたちの企画にお手伝いをさせていただきましたが、積極的な行動力には頭の下がると思いましたが、新しい母親クラブの誕生に期待したいと思います、共に頑張りましょう。

こうして集まつて体験をしますと、いろんな考え方や知恵など交換し合えますし、世代の違う方達のもののとらえ方や受け入れ方などのやりとりが学べ、分かり合えて大変良かったと思いました。また、被災地のまだ仮設住宅に住んでいらっしゃる方々への募金活動を同時にを行い寄付をしました。被災地のみなさんとのつながりも、続けていくことの大切さも学びました。

今回は母親クラブ結成予定の若いお母さんたちの企画にお手伝いをさせていただきましたが、積極的な行動力には頭の下がると思いましたが、新しい母親クラブの誕生に期待したいと思います、共に頑張りましょう。

中国・四国・
九州ブロック

児童の事故防止のための活動

北九州市深町児童館母親クラブ

私達のクラブでは、活動目標の二の項に
関して以下の活動を実践しています。

◎コスマス街道の種まき

子供達の隔週五日制が発足した時より、
北九州市若松区主催による「コスマス街道
に花を咲かせましょう」というボランティ
ア公募が行われています。畑を耕す事から
始まり種まき、水やり、その間雑草取りを
しながら花を咲かせる迄のボランティア活
動です。自然にふれあう機会の少ない今日、
私たちは情操教育の一貫として子供達と共に
に参加する事にしました。コスマス畑が子
供、お父さん、お母さんとのミニユケー
ションの場になります。みんなここちよい
汗を流し和気合々。秋にはとてもきれいな
花が色鮮やかに咲きます。ひびき茜ライン
通称「コスマス街道」といって市の名所に
なっています。

◎お茶会

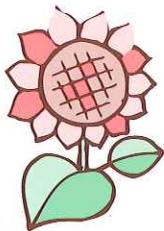
十五年前から年のはじめに児童館でお茶会
をしております。家庭の中で正座をする事
が少なくなっているので、ほんの数分でも
座る事さえ子供達にとっては苦痛の様です。
そこでお茶会を通して礼儀作法を学ばせ、遊び方
親も昔を思い出しながら一緒に楽しんでい
ます。この時ばかりは誰も神妙な顔つきで
す。

◎通学路の清掃

ゴミのポイ捨て禁止など環境問題が話題

になつてゐる昨今、子供達にまずは通学路
からと親子清掃を行つてゐます。こうする
事によつて子供達の環境に対する関心も増
してきて街がとてもきれいになりました。
市から感謝状も頂き子供達もガンバッてい
ます。

「子供達が健やかに育つことを願つて」こ
れからも私たちは地域に根ざした活動を続
けて参りたいと思つています。



伝承遊び

沖縄県母親クラブ連絡協議会

渡慶次 美佐江

近年は少子化、核家族化が進み、子供た
ちがお年寄りとふれあう機会が少なくなつ
てきています。そこで母親クラブではいた
わりの心を持つたやさしい子供に成長して
くれるようにと、お年寄りとふれあう機会
をつくり昔ながらの玩具の作り方、遊び方
を教えてもらっています。

沖縄には他県にはない珍しい植物がたく
さんあります。ソテツもその中の一つです。
葉は針のようになるとがつていて、それを編ん
でいくと虫かごになります。子供達は、お
年寄りのみごとな手さばきに見入り既成の
ものではないぬくもりを感じながら、それ
ぞれのかわいい虫かごを編みあげていま
す。そして実は外皮を削り穴をあけ、笛に

なつたり、つまようじを差し込みブタの置
物を作つたりします。自分達の手で作った
ものを子供達は大切にし、今は昔へと夢を
馳せています。

また独特な伝統芸能に「エイサー」とい
うものがあります。大人も子供も爽快なり
ズムに合わせてパーanky（太鼓）を打
ちならします。この「エイサー」もとも
とは、お盆のころ先祖を供養するためのも
のでしたが、最近では地域や保育園で集団
教育、音感教育を目的に子供達に指導され
ています。昔ながらの民謡と太鼓のリズム
に幼い頃から触れ、沖縄の大切な文化を受
け継いで行く子供達が育つています。誰の
心中にある「ふるさと」はそういつた
中から生まれてくるのではないか。どうか。



行政だより

平成十一年度 児童健全育成対策関係について

厚生省児童家庭局育成環境課

(一)はじめに

平成十一年度予算は、去る四月八日の通常国会において可決・成立したところですが、そのうち、児童健全育成対策関係予算の概要については別表のとおりであり、それぞれか所数の増や補助単価の見直し等を図つたところであります。その背景等について以下説明します。

(二)児童福祉法の改正

まず昨年の児童福祉法の改正ですが、この改正は、昭和二十二年の法制定以来続いた基本的な枠組みを見直すという大きなものでした。保育所の措置制度の見直しや児童の要保護施設の見直し、また放課後児童健全育成事業や児童家庭支援センター等の時代に即した新しい事業や児童福祉施設等が法律に規定されました。

(三)児童家庭の社会的背景として、少子化の進行、女性の就労の増加に伴う夫婦共働き家庭の一般化、核家族の進展に伴う家庭や地域の子育て機能の低下など近年の児童や家庭を取り巻く環境の著しい変化があり、また子育て支援という観点からは、子供を持った人が安心して子供をみや育てられる環境作りの必要性の増大があります。一方、要保護児童施設、母子家庭施設についても時代に即した見直しが必要です。

こうした状況を踏まえ、平成九年三月に「児童福祉法等の一部を改正する法律案」が国会に提出され、審議を経て、同六月に

可決・成立し、公布されました。(平成十一年四月一日施行)

(三) 平成十一年度予算

平成十一年度予算は、深刻な金融不安による景気後退が国家的な大問題となり、財政構造改革が政府の緊急課題となつて中、会社保障費の増を対前年度比2%以内に押さえよるという政府の厳しい方針の下で編成されました。放課後児童健全育成事業をはじめとする児童健全育成対策関係予算については、その充実を図り、また緊急保育対策等五か年事業関係予算は、対前年度比7.8%増の二、六二一億円を確保し、厚生省としては、今後とも子育てしやすい環境の整備に努めていく所存です。

(別表) 平成十一年度児童健全育成対策関係予算の概要

一 児童館・児童センターの整備等の充実

(二) 児童厚生施設整備費

(九年度) (十年度)

二四・三億円→二四・三億円

(三) 民間児童厚生施設活動推進事業費

六・三億円→六・五億円

・児童館

五六六か所→五七四か所

・児童センター

二九九か所→三〇六か所

・県立児童館(ネットワークづくり事業)

七か所→七か所

(三) 保育所併設型民間児童館等事業費

七・三億円→六・九億円

・保育所併設型民間児童館事業

四〇か所→三六か所

・コミュニケーションティー児童館整備事業

三〇か所→三〇か所

(四) 児童厚生員研修会に対する補助

○・三億円→〇・三億円

二 母親クラブ活動費の充実

三・三億円→三・四億円

四、六九二クラブ→四、八五三クラブ
三 放課後児童健全育成事業の充実
三一・三億円→四六・五億円

六、九〇〇クラブ→七、九〇〇クラブ
単価の見直し等

非常に高い状態であります。(出生、千対百
二十五)

初期の特筆すべき事業に「愛育村」事業があります。これは高い乳児死亡率を改善するため、全国の農山漁村の母子を心身両面から世話をしようとする全国の婦人が愛育班員となり、出産時の衛生指導や乳幼児健康相談などの奉仕活動を行いました。

昭和十一年に第一回として愛育村五ヶ所を指定し、戦前戦後を通じ各地域で愛育班活動が開され、現在も千百二十八の愛育班があり活動しています。

昭和十三年には「愛育研究所」が設置され、その後昭和三十九年九月には国立の児童問題研究機関に代わるものとして「日本総合愛育研究所」となり、更に平成八年四月からは研究機能、情報機能、研修機能及び相談機能を十分發揮できる構造及び設備を取り入れた研究所として全面改築を行い、「日本子ども家庭総合研究所」と改称しました。

研究所は母と子に関する心身両面からの総合的なまた行政に生かし得るような実際的な研究のほか、特に最近の少子化問題に関する外部研究者との連携による学際的なプロジェクト研究を行っています。

また、研究所の図書室は、昭和六十年十月二

十四日文化庁長官から著作権法第三十一条の図

書館資料の複製が認められる施設として指定を受けており、関係者の要望に応えています。所

昭和十三年に愛育研究所の業務開始と同時に

蔵している図書及び逐次刊行物は、和書一千五

百冊、洋書一千冊、和雑誌一千二百種、洋雑誌

二百種となっています。

昭和二十四年に「愛育病院」(昭和二十四年に「愛育病院」)に改称)は、常に母子愛育会の数多い

事業の中核として機能してきました。

昭和五十五年には、前年の国際児童年の記念事業の一つとして、愛育病院を中心とした「総



石井祥治育成環境課長補佐



大西延英健全育成係長

「お知らせ」

関係団体紹介

母と子の保健と福祉のために

常務理事　円山　一

東京都港区南麻布五丁目の一角に恩賜財團母子愛育会はあります。

恩賜財團母子愛育会は、天皇陛下の御誕生を記念して昭和九年二月十三日に創立され、その創立趣旨「本邦児童及母性三対スル教化並ニ養護ニ関スル諸施設……」とのご沙汰書により諸活動を展開し、今や六十年の歳月を刻もうとしています。創立当時はまだ母親や子どもに対する施策は不十分であり、乳児死亡率も



「合母子保健センター」を開設しました。愛育病院は百十八床で小児科、産婦人科を中心として専門的な医療を行うとともに、愛育病院等で出産した母子を定期的に保健指導する体制を確立しました。

平成十一年度からハイリスク新生児や妊娠婦の医療ニーズに応える総合的な「周産期母子医療センター」として、母子専門病院としての使命を果たすこととしています。

またセンターにおいては、国内外の母子保健関係に対する専門的な研修のほかフェニルケトン尿症などの先天性代謝異常症の治療のための特殊ミルクの研究・開発、安定期給及び情報提供を行っています。

この他教養施設として、愛育幼稚園、愛育養護学校及びナーサリールームを設置し、乳幼児の教育・保育事業、精神衰弱児に対する教育と生活指導を行っています。

母子高齢化が急速に進行するわが国において、母子保健の水準は世界のトップレベルとはいえ、母子保健の課題は消滅したわけではなく、心の健康の重視や出産直後の子育て不安への対応など、母子保健の今日的課題への対応が半世紀以上にわたる歴史と伝統を持つ母子愛育会に求められる課題と受け止めています。

海外研修報告

グリム童話の世界を旅して

静岡県上足洗母親クラブ
飯野 紀代子

母親クラブ活動のひとつに文庫活動があり、読み聞かせをしたり大型紙芝居を作成したり、読書会や映画会などいろんな活動をしてきました。

こどもたちに読み聞かせる、童話の世界はいったい何なのか大変興味深いところで、たゞ運れさられた結末にしたのかもしれないし、仕事も食べ物も無く、遠くの町へ出ていってしまい帰らなかつたのかもしれない。私たちでは想像の出来ない遠い遠い昔の貧しく悲しい生き方しかできなつかたけど、こどもを思う優しさが語り継がれていていいだなどつくづく思いました。いばら姫の城訪ねブーメンへと向かいました。

また時を知らせる経緯時計も幾つか出合いましたけど、心に残る素晴らしいものばかりで、人々に歴史も一緒に刻み込んでおりました。童話の世界もただ単にストーリーを読み聞かせるのみでは無く、よむ大人自身も物語りの原点をよく理解したいものですね。

事務局便り

移転のお知らせ

「全国母親クラブだより」の第三号をお届け致します。

おかげさまで好評を得ており、編集員並びに寄稿者の皆様のご協力のお陰と事務局一同感謝申し上げます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

おかけさまで好評を得ており、編集員並びに寄稿者の皆様のご協力のお陰と事務局一同感謝申し上げます。今後ともよろしくお願い申し上げます。なお、今

年より発行月は、七月と一月に変更になりましたのでご了承ください。

事務局よりのお知らせですが、今般六月末をもって東邦生命社会福祉事業団(「全母協」事務局)の事務所を左記の通り、移転致しました。

新住所は

〒150-1000二

東京都渋谷区二丁目一五番一号

東邦生命ビル 八階

後半は長い間の願いであるマルヘン街道へと入っていきました。

ハーメルンの笛吹き男で有名なこの町を歩いて、この町で貧しく悲しい時代に生きた人々に思いを馳せ、約束を破った大人たちの結末が子どもたちを失うはめになるのだが、もしかしたら町にはなにも無くて果たせなかつたのかもしれないとも思いました。

当時ヨーロッパを襲つたペストで、子どもたちは死んでしまつた。その現実を考えると、もしかしたら結末にしたのかもしれないし、仕事も食べ物も無く、遠くの町へ出ていってしまい帰らなかつたのかもしれない。

私たちでは想像の出来ない遠い遠い昔の貧しく悲しい生き方しかできなつかたけど、こどもを思う優しさが語り継がれていていいだなどつくづく思いました。いばら姫の城訪ねブーメンへと向かいました。

今後のご健康をお祈りし深く感謝申し上げます。

(財) 東邦生命社会福祉事業団の理事長が交代されました。

藤彰夫氏が就任されました。

平成十年四月二十八日に開催されました同事業団の第三十二回理事会に於いて、理事長高木恵一氏が退任され、新理事長に後藤彰夫氏が就任されました。

高木前理事長には、わずか一年間でしたが、参与として「全母協」運営に対し、親身にお世話をいただきました。

